

| 時代 | 西暦 | 埼玉県のできごと |
|-----|----------|---|
| 旧石器 | 紀元前 | |
| | 3万年前 | 旧石器の使用が始まる(三芳町藤久保東第二遺跡など) |
| | 2万年前 | ナイフ形石器の使用が始まる(所沢市砂川遺跡など) |
| 縄文 | 1万3000年前 | 細石刃が使用されるようになる(川本町白草遺跡など) |
| | 1万年前 | 土器や弓矢の使用が始まる(飯能市小岩井渡場遺跡など) |
| | 6000年前 | たて穴住居が出現する(花園町宮林遺跡など) |
| | 3000年前 | 現在の荒川・綾瀬川・元荒川にそって、多くの貝塚ができる(富士見市水子貝塚など) 各地に大集落がつくられる |
| | 2000年前 | 低地での生活が始まる(さいたま市寿能泥炭層遺跡など) |
| 弥生 | 1000年前 | 呪術的な道具が多くつくられる(川里村赤城遺跡など) |
| | 300年前 | 弥生文化が伝わる(岡部町四十坂遺跡など) |
| | 紀元100 | 環濠集落や方形周溝墓がつくられる(熊谷市池上遺跡など) |
| 古墳 | 2~3世紀 | 稲作が広まり、集落がしだいに大規模になる(上尾市尾山台遺跡など) |
| | 350ころ | 大和朝廷が国土を統一する |
| | 4世紀 | 古墳がつくられる(桶川市熊野神社古墳など) |
| | 471 | 稲荷山古墳出土の鉄剣(行田市)がつくられる |
| | 6世紀前半 | このころから、大型の古墳がつくられる(東松山市野本将軍塚古墳など) |
| | 534 | 笠原直使主が同族の小杵と武蔵国造の職をめぐる争う |
| 飛鳥 | 6世紀後半 | このころ、横穴群集墳がつくられる(吉見町吉見百穴など) |
| | 633 | 物部兄麻呂が武蔵国造になる |
| | 645 | 大化の改新が始まる |
| | 684 | 百済の渡来人を武蔵国に移す |
| | 687 | 新羅の渡来人を武蔵国に移す |
| | 708 | 秩父郡が朝廷に和銅を献上する |
| | 710 | 都を平城京に移す |
| 奈良 | 716 | 下総・駿河などの高麗人を武蔵に移して高麗郡を置く |
| | 756 | 正倉院文書に、従四位上・武蔵守・高麗福信の名が見られる |
| | 758 | 渡来した新羅人を移して新羅郡を置く |
| | 764 | 人間郡出身の物部広成らが恵美押勝の兵を破る |
| | 769 | 人間郡の正倉が神火で焼失する |
| | 770 | 足立郡の采女武蔵家刀自が従五位下に昇進する |
| | 771 | 武蔵国を東山道から東海道へ移す |
| | 788 | 板東の兵士を陸奥国多賀城に派遣する |
| | 792 | 武蔵国に健児105人を置く |
| | 794 | 都を平安京に移す |
| 平安 | 818 | 武蔵国など6か国に大地震がおこる |
| | 830 | 武蔵国の土地220町を勅旨田とする |
| | 837 | 埼玉郡壬生氏出身の天台座主円澄が死亡する |

| | | |
|----|-----------|-----|
| 鎌倉 | 建武の 新政 | 南北朝 |
|----|-----------|-----|

- 861 武蔵国の郡ごとに検非違使を置く
- 934 武蔵国が21郡となる(現在の県域は15郡)
- 938 足立郡司武蔵武芝と国司興世らが争い、翌年の平将門の乱の原因となる
- 940 平将門が藤原秀郷・平貞盛らと戦い、下総国で敗死する
- 1016 **藤原道長が摂政となる**
- 1028 平忠常の乱がおこる
- 1083 後三年の役で源義家と清原氏らが戦い、武蔵武士は義家に従う
- 1155 源義平が比企郡大蔵館で叔父の義賢を殺す
- 1156 保元の乱で、岡部・斉藤・金子氏らが源義朝に従い戦う
- 1159 平治の乱で、猪俣・熊谷・足立氏らが源義朝に従い戦う
- 1180 河越氏・畠山氏が源頼朝に従う
- 1182 河越重頼の妻が源頼家の乳母となる
- 1185 河越重頼が、源義経の縁者であったため所領を没収される
- 1189 源頼朝が戦勝祈願のため、比企郡慈光寺に愛染明王像を奉納する
- 1192 **源頼朝が征夷大將軍になる**
- 熊谷直実が久下直光と争い、のちに出家する
- 1193 畠山重忠が幕府の命令により、丹党と児玉党の争いを調停する
- 幕府が埼玉郡鷲宮に神馬を奉納する
- 1203 比企能員が北条氏に殺される
- 武蔵国の御家人が北条時政に忠誠を誓う
- 1205 畠山重忠父子が北条氏に殺される
- 1207 幕府が武蔵国内の荒野開発を命令する
- 1221 承久の乱で、北条泰時が武蔵の武士を率いて京都に出発する
- 1227 現存する最古の紀年銘をもつ板碑がつけられる(江南町に現存)
- 1235 幕府が熊谷一族の争いを裁き、資直を大里郡西熊谷郷などの地頭職にする
- 1271 東松山付近で勢力のあった小代氏が、蒙古襲来に備えて九州へ向かう
- 1274 **文永の役がおこる(元寇)**
- 1296 吉見義世が幕府に対し謀反をおこす
- 1329 大河原時基が、備前長船景光・景政作の太刀を播磨国広峰神社に奉納する
- 1331 後醍醐天皇討伐に安保・河越・高坂氏など多数の武蔵武士が参加する
- 1333 武蔵武士を従えた新田軍と幕府軍が小手指ヶ原で戦う
- 鎌倉幕府がほろび、加治家貞の供養板碑がたてられる
- 1334 **前年より建武の新政が行われる**
- 1335 北条時行が女影ヶ原・小手指ヶ原で足利直義軍を破る
- 河越・高坂氏らが新田義貞に従い、足利尊氏軍と箱根で戦う
- 1337 北畠顕家が利根川で足利軍を破り、鎌倉を占領する
- 1338 越生四郎左衛門が北畠顕家を和泉国堺で討つ
- 足利尊氏が征夷大將軍になる**
- 1349 足利基氏が鎌倉公方となる
- 1351 足利尊氏方の高麗経澄が足立郡で足利直義方の難波田九郎三郎を破る

- 1353 足利基氏が入間川に陣を構える
- 1363 足利基氏が宇都宮氏綱・芳賀禪可と入間郡苦林野・比企郡岩殿山で戦う
- 1368 河越氏が鎌倉公方にそむいて平一揆の乱をおこし、河越館に籠城する
上杉憲基が川越館を攻め落とす
- 1380 関東管領上杉憲方らが小山義政を降伏させ、大里郡村岡に陣を置く
- 1388 足利義満が東国を遊覧する
- 1396 大僧都朝成の求めにより、各地の寺院で大般若心経の一日頓写が行われる
- 1417 上杉憲基が武蔵などの兵を率いて相模川で上杉禪秀と戦い、勝利する
- 1440 春王丸・安王丸らが拳兵し、結城合戦が始まる
- 1456 足利成氏が埼玉郡鷲宮大明神に戦勝を祈願する
- 1457 太田道真・道灌父子が河越城・岩付城を築く
- 1467 **応仁の乱がおこる**
- 1469 太田道灌が河越城に飯尾宗祇らを招き、連歌会を開く(河越千句)
- 1477 長尾景春が前年に男衾郡鉢形城で拳兵し、児玉郡五十子の上杉顕定らを攻める
- 1478 太田道灌が男衾郡鉢形城を攻め、長尾景春を追い出す
- 1486 太田道灌が相模国糟屋館で殺される
- 1488 上杉顕定と上杉定正が比企郡須賀谷原で戦う
- 1492 太田道真が入間郡越生で死亡する
- 1504 河越城の扇谷上杉朝良が北条軍の支援で山内上杉・古河公方連合軍と武蔵各地で戦う
- 1524 北条氏綱が江戸城を奪い、扇谷上杉朝興が河越城に逃れる
- 1535 北条氏綱が河越城の扇谷上杉朝興を攻める
- 1537 北条氏綱が河越城を攻め落とす
- 1538 北条氏綱が岩付城の太田資正を攻める
- 1546 北条氏康が河越城を救援する(河越夜戦)
- 1549 **キリスト教が伝わる**
- 1552 北条氏康が児玉郡御獄城の安保氏を攻め、北武蔵に進出する
山内上杉憲政が越後の長尾景虎(上杉謙信)に助けを求める
- 1555 北条氏康が河越・松山周辺を検地する
- 1563 北条・武田連合軍が太田資正方の比企郡松山城を攻め落とす
- 1564 岩付城主太田氏資が北条氏康と通じ父資正を追放する
- 1567 太田氏資が上総国三船台で討たれ、後北条氏が岩付領を支配する
- 1569 北条氏康が上杉謙信と和議を結ぶ(越相同盟)
武田信玄が鉢形城を攻める
- 1574 北条氏政が羽生城を攻略する
- 1576 鉢形城主北条氏邦が軍法を定める
- 1578 北条氏が比企郡三保谷郷を検地する
- 1582 北条氏が神流川で滝川氏と戦う
- 1588 天台宗の僧天海が川越喜多院の住職となる
- 1590 岩付・忍・鉢形城が豊臣方によって落とされる

- 豊臣秀吉が小田原城を攻め落とし、後北条氏は滅亡する
- 1591 伊奈忠次が小室陣屋を築く
- 徳川家康が由緒ある寺社に領地朱印状をあたえる
- 1596 伊奈忠次が徳川家康の命令で大宮氷川神社の社殿を再建する
- 1597 北条氏邦が加賀国金沢で亡くなる
- 1602 中山道に伝馬制がしかれる
- 1603 徳川家康が征夷大將軍になり、江戸に幕府を開く
- 1604 伊奈忠次が備前渠を開削する
- 中山道・日光街道などの諸道に一里塚が築かれる
- 1610 伊奈忠次が死亡する
- 1611 徳川家康が天海に川越喜多院の再興を命じる
- 1612 徳川家康が曹洞宗法度を制定し、越生龍穩寺などを関三箇寺と定める
- 徳川秀忠が鴻巣御殿で徳川家康をもてなす
- 1614 岩槻でキリスト教徒が捕らえられる
- 1616 幕府が利根川筋の川俣・栗橋などを定船場とする
- 川越喜多院の天海が大僧正となる
- 1617 久能山から日光へ移葬される徳川家康の遺体が、川越に着く
- 1621 伊奈忠治が利根川の改修に着手する
- 1623 川口長徳寺の寒松がキリシタン竹子屋権七郎の妻を助ける
- 1629 伊奈忠治が荒川の流路をかえる
- 伊奈忠治が八丁堤を築き、見沼を溜井とする
- 1631 大里郡寄居に四・九の市が開設される
- 浅間山が大噴火し、武蔵国にも火山灰が降る
- 1633 御三家(尾張・紀伊・水戸)の鷹場ができる
- 1637 忍城主松平信綱が島原・天草一揆の鎮圧に向かう
- 1638 川越城下に大火がおこる
- 1639 松平信綱が川越城主となり、城下町の整備をする
- 1640 伊奈忠治が江戸川を開削する
- 1647 川越城主松平信綱が新河岸舟運を開く
- 1648 川越藩が入間・比企・高麗郡の村々で検地を実施する
- 1653 伊奈忠治が死去する
- 川越城主松平信綱が野火止新田を開く
- 1654 赤堀川を再掘し、利根川を鬼怒川へ付けかえる
- 1655 川越藩が安松金右衛門に命じ野火止用水を開削させる
- 1656 児玉郡渡瀬村でキリシタン6名が捕らえられる
- 1658 埼玉郡柳生村でキリシタン10名が捕らえられる
- 1660 伊奈忠克が葛西用水を開削する
- 1662 川越城主松平信綱が死去する
- 1663 岩槻平林寺を新座郡野火止に移す
- 1675 江戸町人加田屋助右衛門が足立郡片柳に入江新田を開発する

- 1694 柳沢吉保が川越藩主となる
- 1696 川越城主柳沢吉保が三富新田を完成させる
- 1704 利根川・荒川がはん濫する
- 1705 忍城下に大火がおこる
- 1707 富士山が大噴火し、武蔵国にも火山灰が降る
- 1716 享保の改革が始まる
- 1717 紀伊家の鷹場が足立・埼玉郡内にできる
- 1723 元荒川・利根川で大洪水がおこる
- 1727 見沼代用水を開削する
- 1728 徳川吉宗の家臣井沢弥惣兵衛が見沼代用水の工事を完成させる
- 1731 見沼通船堀の閘門が完成し、通船が始まる
- 川越藩が扇・寺尾など5河岸の間屋株を公認する
- 1741 幕府が青木昆陽に命じて秩父・多摩郡の古文書を収集させる
- 1742 寛保の大水害がおこる
- 1743 長州藩毛利氏が利根川堤修築を記念して、埼玉郡鷲宮神社に石灯籠を奉納する
- 1751 入間郡南永井の名主らが上総国から種いもを入手し、さつまいもを栽培する
- 1752 忍藩秩父領の村々が年貢増徴に反対して一揆をおこす
- 1764 武蔵・上野・下野・信濃の農民が増助郷の免除を要求し暴動をおこす(伝馬騒動)
- 1765 入間・高麗・比企・足立・埼玉郡内で打ちこわしが発生する
- 平賀源内が秩父郡中津川で金銀鉱石を発見する
- 1772 平賀源内が秩父郡中津川での鉄山開発を願い出る
- 1775 平賀源内が荒川通船を完成させる
- 1779 塙保己一が「群書類従」の編纂を始める
- 1783 浅間山の大噴火で県内各地に被害が生じる。幡羅郡下奈良村の吉田宗敬らが私財で救済する
- 1784 葛飾郡幸手宿正福寺境内に義賑窮餓之碑がつくられる
- 1785 心学者大島有隣が葛飾郡大島村に恭儉舎を開く
- 1786 暴風雨により利根川・荒川・権現堂川・元荒川で大きな被害が生じる
- 1792 川越元町に大沢家住宅(蔵造り)が建てられる
- 1799 岩槻に遷喬館がつくられる
- 1802 洪水で権現堂堤・備前堤などが決壊する
- 1803 久喜に郷学遷善館が設立される
- 1813 小川和紙仲間が江戸問屋を訴える
- 1814 幕府測量方伊能忠敬が秩父地方を測量する
- 1819 塙保己一が「群書類従」を完成させ、正編を刊行する
- 1820 幕府が川越藩などに相模国沿岸警備を命じる
- 1825 川越城下で大火がおこる
- 足立郡塚越村の高橋新五郎が青緞織を改良する
- 1826 忍藩の藩校進脩館を桑名から移すため、芳川波山を儒者にむかえる
- 1827 川越藩の藩校博諭堂がつくられる

- 1828 この年の武蔵国の人口が 171 万 7455 人という
- 1829 吉川温恭よしかわよしずみらが製茶法を改良する
- 1830 この年の幕府へ提出の県内村数が 2017 村という
- 1832 渡辺華山わたなべ かせんが幡羅郡三ヶ尻村をおとずれ、「訪鼠録ほうしゅうろく」をあらわす
- 1833 ききんにより幸手で暴動がおこる
- 1834 加須・騎西かぞ きさいで打ちこわしがおこる
- 1836 岩槻・久喜で打ちこわしがおこる
- 1839 荒川堤普請あらかひ ふしんをめぐり、大里郡下の村で蓑負騒動がおこる
- 1842 幕府が川越藩に相模、忍藩ぼうろうに房総の沿岸警備を命じる
- 1853 **ペリーが浦賀に来航する**
幕府が川越・忍藩に、房総に代わって品川沖台場の防備を命じる
- 1861 皇女和宮降嫁こうじよがづのみやこうかの行列が中山道を通る
- 1864 忍・岡部藩などが幕府の命令で水戸天狗党てんぐとうを討つ
- 1866 忍藩が京都警護を命じられる
名栗谷なぐりだにから打ちこわしが発生し、武蔵国・上野国へと広がる(武州一揆)
羽生陣屋はにゅうが設置される
- 1867 **大政奉還が行われる**
- 1868 羽生陣屋焼き払いほつたんが発端となり、久喜・加須などに打ちこわしが広がる
官軍に反抗して飯能戦争がおこる
明治天皇が大宮氷川神社おおみや ひかわ さんばいに参拝する
- 1869 大宮県を置く
大宮県を浦和県と改称する
- 1870 熊谷で人力車じんりきしゃが営業を開始する
- 1871 藩を廃し、忍・岩槻・川越の各県を置く
浦和県・岩槻県・忍県を廃し、埼玉県を置く
川越県を廃し、入間県を置く
- 1872 行田に県内初の理髪店りはつが開業する
- 1873 入間県と群馬県を合併し、熊谷県を置く
- 1874 埼玉師範学校しはんが設けられる
- 1875 熊谷に県内初の牛乳店が開業する
熊谷で民権結社の七名社が設立される
- 1876 熊谷県が廃止されて埼玉県と合併し、現在の県域がほぼ確定する
- 1877 木村九蔵きむらく ぞうが競進組きょうしんぐみを設ける
県下にコレラが大流行する
高麗郡上広瀬村ちやうぎやうしやに器械製糸・暢業社が開業する
- 1878 第八十五国立銀行が川越町に設立される
大宮で県内初の牛鍋店ぎゅうなべが開業する
第 1 回県会議員選挙が行われる
- 1879 第 1 回埼玉県議会を開く
- 1880 堀越寛介ほりこしかんすけらが国会開設を請願せいがんする

大正
昭和

- 1883 日本鉄道の上野^{うえの}～熊谷間が開通する
- 1884 秩父事件がおこる
- 1885 日本鉄道の大宮～宇都宮間が開通する
大宮氷川公園が開園する
- 1887 渋沢栄一^{しぶさわ えいいち}が深谷^{ふかや}に日本煉瓦製造株式会社を設立する
- 1889 町村施行令により、県内は 40 町 369 村となる
- 1890 第 1 回衆議院議員総選挙が実施される
- 1893 川越町で大火がおこり、蔵造りがさかんになる
- 1894 日本鉄道大宮工場が開業する
日清戦争がおこる
- 1896 埼玉県第 1(浦和)、第 2(熊谷)^{じんじょう}尋常中学校が開校する
- 1897 杉戸^{すぎと}に県内初の電話が設置される
- 1899 東武鉄道伊勢崎線の北千住^{きたせんじゅ}～久喜間が開通する
- 1900 埼玉県高等女学校が開校する
川口に県内で初めて電灯が設置される
- 1904 日露戦争がおこる
- 1905 北沢楽天^{きたざわらくてん}らが「東京パック」を創刊する
- 1906 川越電気鉄道の川越～大宮間が開通する
- 1909 田山花袋^{たやまかたい}が「田舎教師」発表する
- 1910 利根川・荒川ぞいに大洪水がおこる
- 1911 所沢に県内初の飛行場が開設される
- 1914 東武東上線^{とうじょう}の池袋^{いけぶくろ}～川越間が開通する
- 1915 武蔵野鉄道^{むさしの}の池袋～飯能間が開通する
- 1918 羽生で県内初の米騒動が発生する
武州銀行が浦和町で設立される
- 1920 第 1 回国勢調査が行われ、県人口が 131 万 9533 人となる
- 1921 旧制浦和高等学校が開校する
- 1922 埼玉県水平社創立大会が開催される
川越が県内で初めて市制を施行する
- 1923 秩父セメント株式会社が秩父郡秩父町に設立される
関東大震災^{かんとうだいしんさい}がおこり、県内各地で多数の朝鮮人が虐殺^{ぎゃくさつ}される
- 1924 武州鉄道の蓮田^{はすだ}～岩槻間が開通する
- 1925 ユニオンビール争議がおこる
- 1928 県内の第 1 回メーデーが川口町で開催される
- 1933 熊谷・川口が市となる
- 1934 浦和が市となる
八高線^{はちこう}が全線開通する
- 1935 熊谷陸軍飛行学校が大里郡三尻村^{みしり}に開校する
- 1940 国鉄川越線大宮～高麗川^{こまがわ}間が開通する
国民精神総動員県本部が設置される

- 県下の労働組合が解散させられる
- 1941 **太平洋戦争が始まる**
- 1943 県内の諸銀行を合併して、埼玉銀行を設立する
- 1944 県下の中学生の通年動員が始まる
- 1945 熊谷市が大空襲くうしゅうを受ける
ポツダム宣言を受諾する
片倉工業大宮工場内に連合軍埼玉軍政部が設置される
- 1946 埼玉軍政部が浦和の埼玉会館別館に移転する
県農地制度改革推進委員会が発足する
- 1947 飯能で八高線列車転覆事故が発生する
各地に新制中学校ができる
キャスリン台風により大洪水がおこる
- 1948 埼玉県庁舎が焼失する
- 1949 初の成人式が埼玉会館で挙行される
国立埼玉大学が創設される
- 1951 県総合開発審議会が発足する
- 1952 国鉄高崎線たかさきが電化される
- 1954 荒川上流の改修工事が完了する
- 1955 県庁舎・県会議事堂が落成する
- 1956 県下の町村合併により、18市39町52村となる
国際連合に加盟する
- 1958 東北本線大宮～宇都宮間が電化される
- 1959 県内初の大規模団地となる新所沢団地への入居が始まる
首都圏市街地開発区域けんに浦和・大宮地区が指定される
- 1962 県公害防止条例が公布される
- 1963 国道17号バイパス宮原みやはら～鴻巣間が開通する
狭山事件さやまがおこる
- 1965 第10回国勢調査で県人口が300万人を突破する
- 1967 第22回国体夏季大会が川口・戸田市とだで開かれる
国体秋季大会が上尾市あげおを中心に開催される
- 1969 西武鉄道秩父線せいぶが開通する
- 1970 浦和南高校がサッカーで初の三冠を達成する
県南部で光化学スモッグが発生する
- 1971 埼玉県立博物館ができる
埼玉百年記念式典が行われ、県民の日が制定される
- 1972 東北自動車道岩槻～宇都宮間が開通する
沖縄が日本に復帰する
- 1974 国営武蔵丘陵森林公園きゅうりょうが開園する
- 1977 県人口が500万人を突破する
国立婦人教育会館らんざんが嵐山町に開館する

| | | |
|----|------|---|
| 平成 | 1978 | 稲荷山古墳出土の鉄剣で文字が発見される |
| | 1979 | テレビ埼玉が開局する |
| | 1980 | 関越自動車道東松山～前橋間が開通する |
| | 1982 | 東北・上越新幹線が大宮駅を始発駅として開通する |
| | 1985 | 常磐自動車道三郷インターチェンジが開通する |
| | 1986 | 国鉄埼京線が新宿乗り入れとなる |
| | 1987 | 県人口が600万人を突破する |
| | 1988 | さいたま博覧会が熊谷市で開かれる 県産業文化センターのソニックシティが大宮市にできる |
| | 1991 | 伊奈町で県民活動センターが完成する 埼玉銀行が協和銀行と合併し、協和埼玉銀行(後のあさひ銀行)となる |
| | 1992 | 東京外郭環状道路三郷～和光市間が開通する |
| | 1994 | 彩の国さいたま芸術劇場が開館する |
| | 1995 | 副知事が3人制となり、初めて女性の副知事が誕生する |
| | 1996 | 吉川町の市制施行で、43市38町11村となる 大宮市出身の若田光一さんがスペースシャトルに搭乗する |
| | 1997 | さいたま川の博物館が寄居町にオープンする |
| | 1998 | 雁坂トンネル(国道140号)が開通する |
| | 2001 | 浦和・大宮・与野市が合併し、さいたま市が誕生する |
| | 2002 | サッカーの世界カップが開催され、埼玉県内でも試合が行われる |